

STAGE+を楽しむ(355)(HP 収載)

—チョ・ソンジンのショパンのピアノ協奏曲第2番—

1. 始めに

前報(354)に引き続き、STAGE+のチョ・ソンジンのショパンのピアノ協奏曲第2番の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、前報(354)に引き続きチョ・ソンジンのショパンのピアノ協奏曲第2番の演奏を選びました。

チョ・ソンジンがノセダと紡ぐショパンのピアノ協奏曲第2番
ロンドン交響楽団

収録日: 2026年2月15日

首席客演指揮者ジャンンドレア・ノセダ率いるロンドン交響楽団とチョ・ソンジンが、ショパンのピアノ協奏曲第2番を披露します。チョ・ソンジンと同コンビは長年共演を重ね、既にDGでショパンのピアノ協奏曲2曲を録音し、各方面から称賛を受けています。今や特別な信頼関係で結ばれた二人が、ライブでさらに進化したショパンを聴かせてくれるのか、ぜひ注目ください。その前後には、ストラヴィンスキーが敬愛するチャイコフスキーの音楽を素材に再構築したバレエ《妖精の接吻》からの抜粋と、ボロディンの勇壮かつ民族色溢れる交響曲第2番が演奏されます。サンクトペテルブルクで研鑽を積んだノセダの真骨頂を味わっていただけるプログラムと言えるでしょう。

ソリスト:

チョ・ソンジン (ピアノ)

演奏:

ロンドン交響楽団

指揮:

ジャンンドレア・ノセダ

曲目:

イーゴリ・ストラヴィンスキー ディヴェルティメント (バレエ《妖精の接吻》より)
フレデリック・ショパン ピアノ協奏曲第2番へ短調 op. 21

チョ・ソンジン(ピアノ)

アレクサンドル・ボロディン 交響曲第2番ロ短調



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結しています。

また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

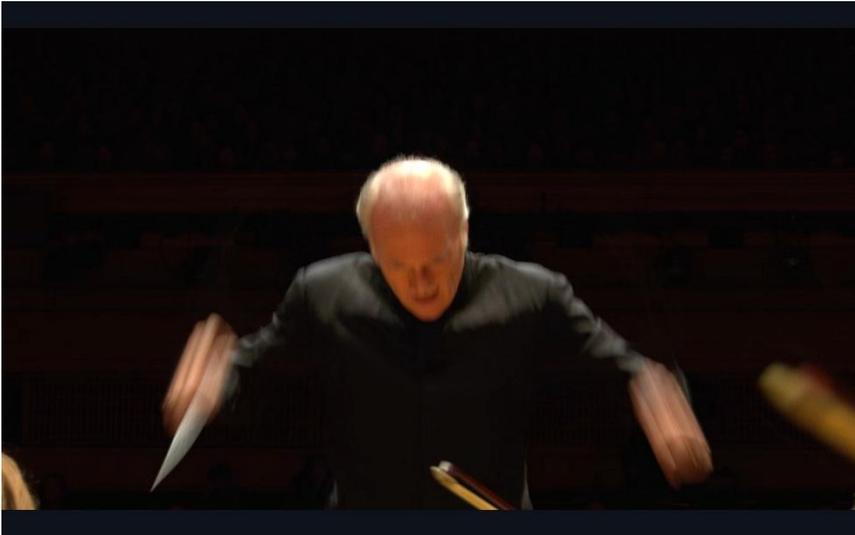
今回、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続は、LAN iPurifier Pro の交換後に元に戻しています。

今回は、PC の受信からクロック入力の修理済の Brooklyn DAC+に送り出しています。また、PC と Brooklyn DAC+の間の介在は、iPurifier USB からインフラノイズの USB アキュライザーに交換しています。クロック入力には ABS-7777 を適用しています。

ストラヴィンスキーのディヴェルティメント (バレエ《妖精の接吻》より)は、バレエ音楽らしく躍動的です。

ショパンのピアノ協奏曲第 2 番は、お馴染みの曲で、端正で緻密な演奏のノセダ指揮 ロンドン交響楽団をバックにチョ・ソンジンのピアノが詩情豊かに美しく奏でられます。

ボロディンの交響曲第 2 番は、重量感のある曲で、終始押し出しがよく、迫力が伝わってきます。



4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、ABS-7777 からのクロック入力の Brooklyn DAC+ に送り出し、PC と Brooklyn DAC+ の間には USB アキュライザーに交換した結果、バレエ音楽の躍動感、ショパンのピアノ協奏曲のチョ・ソンジンの詩的なピアノイズム、ボロディンの交響曲の重量感のある迫力などが味わえました。

以上